

製品名: Sgo2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17828**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	SGOL2
別名	SGOL2; Shugoshin-like 2; Shugoshin-2; Sgo2; Tripin
遺伝子 ID	151246.0
SwissProt ID	Q562F6
免疫原	抗血清はヒト SGOL2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 681-730

背景

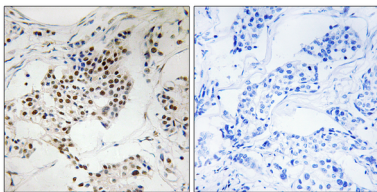
機能: 減数分裂中、第 II 中期/第 II 後期移行までセントロメア接着複合体を保護し、減数分裂特異的 REC8 コヒーシン複合体が第 I 後期セントロメアから早期に放出されるのを防ぐ。したがって、正確な配偶子形成に不可欠である（相同性による）。PPP2CA をセン

トロメアに標的化することで、コヒーシンの脱リン酸化を引き起こす可能性がある。、PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化される。、配列注意: コンタミネーション配列。潜在的なポリ A 配列。、類似性: シュゴシンファミリーに属します。、細胞内局在: Hela 細胞では、前期から中期までセントロメアに局在し、後期に消失します。、サブユニット: PPP2CA と直接相互作用します。、機能: 減数分裂中、中期 II/後期 II 移行までセントロメア接着複合体を保護し、後期 I セントロメアからの減数分裂特異的 REC8 コヒーシン複合体の早期放出を防ぎます。したがって、正確な配偶子形成に不可欠です (類似性による)。PPP2CA をセントロメアに標的化することで作用し、コヒーシンの脱リン酸化を引き起こします。、PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。、配列注意: 配列が汚染されています。潜在的なポリ A 配列。、類似性: シュゴシンファミリーに属する。、細胞内局在: Hela 細胞では、前期から中期までセントロメアに局在し、後期に消失する。、サブユニット: PPP2CA と直接相互作用する。、

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達、細胞周期、染色体構造、セントロメア、細胞生物学、細胞分裂

画像データ



SGOL2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。